

なぜ？ どうして？

不思議がいっぱい！

R8.9 保育未来課
子育てコンシェルジュ

暑さが続く毎日ですが、子どもたちや保護者の皆さまは、いかがお過ごしでしょうか。夏の疲れが出やすい時期でもあります。楽しかった夏の思い出を胸に、体調に気を付けながら、元気に過ごしていきましょう。

忙しい毎日の中でも、夕方から夜にかけて空を見上げるひとときをつくってみませんか。

「夕焼けの空、きれいだね」

「一番星、見つけた！」

「お月さまの形、この前と違うね。どうしてかな？」

子どもの何気ないつぶやきには、会話を広げるきっかけや、成長につながる発見がたくさんあります。

この時期は、夕焼けの美しさや一番星の輝き、月の形、星座などに興味をもつ子どももいることでしょう。「なぜ？」「どうして？」と不思議に思い、感じたり考えたりすることは、子どもにとって大切な経験です。

子どもは、身近な環境に心を動かされながら、自ら関わり、遊び、考えます。その中で、好奇心や探究心が少しずつ育まれていきます。お子さんがどのようなことに心を向け、どんな発見をするのか、ぜひ一緒に楽しんでみてください。

子どもの「不思議」に寄り添って

「白い雲や黒い雲、赤やオレンジ色の雲があるのは、どうして？」

「大きな雲や小さな雲、綿菓子みたいな雲があるね」

「お月さまには、だれが住んでいるのかな？」

「空のずっと向こうには、何があるのだろう」

「朝になると星や月が見えなくなるのは、どうしてかな？」

子どもの疑問に、すぐに正解を伝えなくても大丈夫です。

「どうしてだと思う？」

「一緒に見てみようか」

「図鑑や本で調べてみようか」

など、子どもの思いや考えを受け止めながら、一緒に考えたり調べたりする時間を楽しんでみましょう。大人にとっても、子どもの視点から新しい発見があるかもしれません。



時には、子育てを振り返ってみませんか

お子さんは元気に過ごしていますか。

「なぜ？」「どうして？」と不思議に思ったことを話していますか。

自分の思いや考えを伝えようとしていますか。

お子さんと遊んだり関わったりする時間を、楽しめていますか。

お子さんの気付きや言葉に、驚いたり、教えられたりすることはありますか。

子育てに不安を感じたり、悩んだりすることは、誰にでもあります。そんなときには、目の前のお子さんの姿をゆっくり見つめ、日々の関わりを少し振り返ってみることも大切です。振り返ることで、これまで気付かなかったお子さんの成長や、新しい関わり方のヒントが見えてくることがあります。

子育ては、思うようにいかず、しんどく感じることもあります。だからこそ、保護者の皆さま自身も、無理をしすぎず、お子さんとの時間の中にある小さな発見や楽しさを大切にしていただければと思います。保護者が笑顔で子どもと関わる姿は、お子さんにとって大きな安心と力になります。